

## 世界初の「担ぎ桶」スタイルの電子和太鼓を発売 ～電子ドラムの独自技術を応用。伝統的な和太鼓のさまざまな音色で演奏可能～

ローランド株式会社は、長年の電子ドラム開発で培った技術を駆使し、さまざまな種類の太鼓の演奏が可能な電子和太鼓『TAIKO-1』を、2020年夏に発売します。



『TAIKO-1』



『TAIKO-1』演奏イメージ

当社は、「創造体験で世界中の人々をワクワクさせる」という理念のもと、電子楽器の可能性を広げる製品の開発を続けてきました。電子ドラムの研究開発にも長年取り組み、多くの独自技術やノウハウを蓄積。その技術を応用し、カホンを電子化した「EL Cajon」など、電子パーカッションの開発にも注力しています。また、日本の伝統的な和太鼓についても研究を進めるなかで、太鼓芸能集団「鼓童」と出会い、お互いが打楽器文化を発展させたいという思いに共感し、交流を深めてきました。

当社は、鼓童の協力のもと、電子和太鼓への取り組みを進め、2017年に初の試作機を製作。同機を使用したパフォーマンスは大きな話題となりました。その後も、ローランドの技術やノウハウを注ぎ込み、さらなる構造の改良や軽量化をはかり、このたび世界初の担ぎ桶<sup>※</sup>スタイルの電子和太鼓『TAIKO-1』が完成しました。

和太鼓は、日本各地の伝統的な祭りや寺社祭礼、学校教育などで用いられ、多くの方に親しまれている楽器です。しかしながら、演奏時の音量が大きく、本体のサイズや重さによって持ち運びに苦労しがちな和太鼓を個人で所有することは難しく、練習する場所も限られていました。また、演奏会場の環境によっては、大きな太鼓を持ち込めないことがプロの演奏者にとって悩みのひとつでした。

『TAIKO-1』は、打面を叩く位置や強さに応じて多彩な音を奏でる和太鼓特有の音色変化を、ローランドの技術によって忠実に再現しています。桶胴太鼓はもちろん、異なる種類の和太鼓や拍子木、さらには太鼓以外の打楽器の音色まで内蔵し、1台でさまざまな音色を使って演奏できます。打面には、静粛性に優れたローランド独自のメッシュ素材の採用し、音の大きさを気にせず練習することが可能。また、本体を分解してコンパクトに収納でき、持ち運びもスムーズです。充電式ニッケル水素電池（単3形×8本）での駆動にも対応し、自由に動きながら演奏できます。

『TAIKO-1』は、これから和太鼓を始めた初心者が気軽に練習できるだけでなく、プロ演奏家のパフォーマンスの可能性を広げることができる、幅広い演奏者にお使いいただける新しい和太鼓です。

※木の桶を使った胴と鉄の輪に革を張った打面を持ち、帯で肩にかけて演奏する太鼓

製品プロモーション動画：<https://youtu.be/u5toItoi0w>

### ●こんな方にオススメ

- ・演奏経験の少ない和太鼓初心者や、練習時間を増やしたい方
- ・これまでにない新しい演奏やパフォーマンスを追求するプロの和太鼓奏者の方

### ●ここがポイント

- ・自然な演奏感で、さまざまな種類の和太鼓の音色を1台で楽しめる電子和太鼓
- ・周囲への音を気にせず、練習サポート機能で一人でも和太鼓練習が可能

品名／品番	価格	発売日	初年度販売予定台数（国内／海外計）
電子和太鼓『TAIKO-1』	オープン価格	2020年夏	1,000台

- 製品に関する報道関係のお問い合わせ先
- 企業情報に関するお問い合わせ先
- 製品に関するお客様のお問い合わせ先

- 製品広報
  - 企業広報
  - お客様相談センター
- 03-6682-7761  
053-523-3652  
050-3101-2555

## 太鼓ならではの幅広い音色変化と自然な演奏感

和太鼓は、打面の端の繊細な音、中心を少し外した伸びやかな音、中心を叩いたときの力強い音など、ひとつの打面から多彩な音を奏でることができます。『TAIKO-1』は、叩く強さによって音が変化するのはもちろん、打点位置検出機能の搭載によって、叩く位置の違いで音が変わります。また、専用に開発されたローランド独自の3層メッシュ・ヘッドを打面に採用し、自然な叩き心地と高い静粛性を実現しました。



専用に開発した3層構造のメッシュ・ヘッド

## 1台でさまざまな種類の和太鼓を演奏

和太鼓の大きさや形には多くの種類があり、それぞれ異なる個性や魅力を持っています。『TAIKO-1』は、桶胴太鼓はもちろん、代表的な和太鼓である長胴太鼓、力強い高音が特徴の締太鼓、さらには太鼓など、さまざまな種類の太鼓の音で演奏が可能。また、竹バチや雪バチなどバチの違いや、複数人が同時に叩いた太鼓の音、チャッパや拍子木といった鳴り物や掛け声、太鼓以外の打楽器や効果音も内蔵しています。



長胴太鼓

## 場所や時間を選ばず一人でも練習が可能

『TAIKO-1』の打面は専用のメッシュ・ヘッドで静粛性が高く、自宅でも太鼓の練習が可能です。また、テンポ感を養うために必要なメトロノームはもちろん、和太鼓の練習に欠かせない「地打ち」フレーズも収録。「地打ち」を鳴らしながら、ソロ・パフォーマンスすることもできます。さらに、『TAIKO-1』はBluetooth®機能を搭載し、スマートフォンと無線接続すれば、好きな曲に合わせて演奏することも可能。発表会やイベントで演奏する曲の練習にも便利です。



『TAIKO-1』音源部分  
（「地打ち」画面）

## 和太鼓演奏の可能性を広げる拡張性

『TAIKO-1』では、USBメモリーに保存したオーディオ・ファイルを本体に取り込み、演奏することができます。お手持ちの太鼓の音を録音して取り込んだり、内蔵の太鼓の音に別の音を重ねて新たな太鼓の音色を作ることも可能です。さらに、別の打楽器や掛け声、自然の音を取り込むなど、アイデア次第で新しい演奏表現の可能性が広がります。

### ■ 太鼓芸能集団 鼓童

佐渡島を拠点に太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試みる太鼓芸能集団です。1981年、ベルリン芸術祭でのデビュー以来、50の国と地域で6,500回を越える公演を行っています。なかでも、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をテーマとした「ワン・アース・ツアーワーク」は、世界各地で4,000回を数えます。また、劇場公演のほか、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」、ワールド・ミュージック、クラシック、ジャズ、ロックやダンス・パフォーマンスなど異なるジャンルのアーティストとの共演や、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等への参加など、幅広い活動を行っています。



## 製品写真



『TAIKO-1』



『TAIKO-1』演奏イメージ



『TAIKO-1』音源部



『TAIKO-1』分解イメージ

## 『TAIKO-1』

- 外形寸法：430（幅）×430（奥行）×521（高さ）mm
- 質量：4.5kg
- 電源：AC アダプター（付属）もしくは、充電式ニッケル水素電池（単3形 × 8本）

- ※ 製品画像は、ニュースリリース・ページ <https://www.roland.com/jp/news/0866/>よりダウンロードいただけます。
- ※ 製品の詳細につきましては、ローランド・ホームページにてご確認ください。 [https://www.roland.com/jp/promos/roland\\_taiko/](https://www.roland.com/jp/promos/roland_taiko/) <https://www.roland.com/jp/products/taiko-1/>
- ※ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ※ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- ※ このニュースリリースに掲載されている製品情報や発売時期などは、発表日現在の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。